

# 会 議 録

1 附属機関等会議の名称

平成28年度第3回美里町在宅医療介護連携推進会議

2 開催日時 平成28年12月8日(木) 19時00分から20時35分

3 開催場所 美里町健康福祉センター 2階 研修室

4 会議に出席した者

(1) 委員

横山眞和委員 野田清一委員 木村泰之委員 伏見祥子委員 佐々木義夫委員 尾形文克委員  
東海林奈菜絵委員 青木正男

(2) 事務局

野田浩司 高橋ひろみ 横山太一 小林公美 相原浩子

(3) その他

千葉京子

5 議題及び会議の公開・非公開の別

議題

連携を行えるようになる為の事業の在り方について  
今後の予定

会議の公開・非公開の別

公開

6 非公開の理由

7 傍聴の人数

0人

8 会議資料

別紙のとおり

## 9 会議の概要

### (1) 議題の審議結果又は今後の対応

- ・医療と介護の連携を図る為の方法として、従事者どうしの研修会や交流会を行いネットワークを作ること、資源の一覧やマップを作成し、従事者も町民も活用できるようにすること等が意見として提案された。
- ・次回の会議では、来年度に向けての事業計画を検討することとした。

### (2) 詳細な意見

青木健康福祉課長	年末のお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。この会議も三回目を迎えることになりました。今日はグループワークもありますので、早速始めたいと思います。
相原技術主幹	<p>今日は、前回は振り返りながら、こんなことを事業にしていけたらいいのではないかとということを考えたいと思います。</p> <p>前回皆さんで行って作ったものをカラーコピーで用意しました。前は普段こんなことを相談されると困ることは何か、それをどのように解決しているかを付箋に書いてもらいました。</p> <p>薬剤師の木村さんはデイサービスの回数を増やしたいと相談されてもどうしたらよいか困ると書いてもらい、それを解決するために、ケアマネジャーさんや看護師さんに相談しましょうと相手に話して解決しているとのことでした。</p> <p>横山先生や野田先生には、認知症の相談をされると困るという話をだしていただきました。</p> <p>ケアマネジャーの伏見さんからは、医師との関係がうまくいかないことを相談されて困ったという話があったり、皆さんから出たのは、お金のことを相談されるのだけれども、自分で解決できることは実際はそんなにないという話がでたかと思えます。</p> <p>皆さんから共通して出たことは、実際解決するには、関係機関に連絡をして情報を貰ったり、そちらにつないでそこで解決してもらったりというやり方が多かったのではないかと思います。</p> <p>これをまとめて皆さんから意見を貰った時に出たのは、専門職でも分からないことが沢山ある、専門外のことを聞かれても分からないということでした。できればその相談の専門のところに聞いて貰えればいいのだがということが出ました。また、自分達も知らないことが沢山あるので、知り合いの専門職やどこに相談するとどういことが分かるという一覧表や、相談できるルートがあるとうもう少しスムーズに相談にのることができるのではないかという意見がありました。また、医師といろいろな事を相談できるといいという意見がありました。</p> <p>そのような所が解決できていけると、連携が取りやすくなるのではないかと考えます。今日は、どんなことをしたらそのあたりが解決できるのかをグループで考えていきたいと思っています。</p>

ただし、こんな事を困っているからこれをしようと考え、出来事に対してただ解決するだけになり、困っていることがなければ何もなくていいという事になるので、前回の皆さんの意見から、委員の皆さんが考えている美里町にどんな物があるといいのか美里町の住民がどんな人になれるといいのかをまとめてみました。これを目標に考えていければいいのではないかと思います。

1 困ったことを解決する為に相談ができる住民。サービスがうまく使える住民。

例えば医師に医療費のことを相談されても、医師は困ることになってしまう。町民自身がどこに医療費のことを相談すれば解決できるかが分かれば、スムーズな相談になれるのではないかと思います。自分にはケアマネジャーがついているからケアマネジャーと相談しようとかができると思います。何でもサービスを使って解決するのではなく、必要なサービスを使って解決できるとよいかと考えます。

2 町民の困った事を支援できるよう考えられる専門職。つなげられる専門職。  
相談に来た方に、「ここにも相談してみましよう」と紹介したりできる専門職が増えていければ、町民の皆さんが解決したいことがスムーズに解決できるのではないかと思います。

この会議を通じて各委員さんの仕事分かるようになりましたが、会議に出ていない方は分からないかもしれない。専門職がお互いを知っていればつながる事ができる。美里町の専門職がつながっていると、町民の問題解決につながるのではないかと考えます。

3 町民を支援できる医療と介護の連携体制。

美里町としての仕組みがあれば、思うように解決できなくても、同じ方向に向かって考えていけると思います。

前回までの会議での意見をまとめて、美里町としてこんなことを考えていけたらというところです。

伏見さんどうですか。

伏見委員	<p>情報を持っている人は分かっているが、自分達で動けない人もいる。体制は大体整っていると思うが、それを活用できない人や動けない人を見ているのは、近くに住んでいる人だと思います。情報をもっと広げるのであれば、自分達で動けない人の身近にいる人達が情報を持るといいのではないかと思います。</p> <p>相談体制は出来ているような気がするが、これ以上もっと町民の方々に分かるようにする為に考えればいいんですね。</p>
相原技術主幹	<p>隣の家の人が困っているようだが、自分達では相談に乗ってあげられそうにないから、自分がケアマネジャーに声をかけてみようや、役場に相談してみよう等ということが大事だと思えるようになれるといいかと考えます。</p> <p>尾形さんどうですか。</p>
尾形委員	<p>医療と介護の連携を考えた時に、医療職は医療だけしか経験がない、介護職は介護しか経験がないとなると、連携がとれないと思います。「相談はこの人にして下さい」と町が発信するのであれば、医療と介護の両方を経験している方、病院のことも知っているし介護のことも知っている方を、地域毎に作っていき、行政が紙面で情報発信することをしてみてはどうかと思います。医療と介護の相談窓口を各地区に作って広報等で発信していくと、お年寄りもよく見るのではないかと思います。人でなくても介護の事業所でもいいし、病院等でもいいと思います。医療と介護をバランスよく考えて相談に乗れることを見つけていかないと、ずっと解決しない問題かと思っています。高い知識が求められるとは思いますが、美里町にはそういう人がいると思います。</p>
相原技術主幹	<p>佐々木さんいかがですか。</p>
佐々木委員	<p>皆さんと同じような意見になりますが、情報をいかに集めるかが重要だと思います。地域の状況を一番知っているのは、区長さんだったり民生委員さんだったりします。そこにアドバイザーみたいな人がいて、うまく相談に乗ればいいのですが、なかなかいない。そこをどうするかだと思います。こちらが出向いて行って、地域毎の医療と介護の情報を集めて話しあうことで、全体像が分かりやすくなるのではないかなと思うので、そういう事をしてほしいのではないかと思います。</p>
相原技術主幹	<p>色々な具体的な意見をいただきありがとうございました。</p> <p>今から、先ほど提案した3つのテーマごとにグループに分かれて、どんなことをしたらそのテーマが達成にむかえるかを考えたいと思います。</p> <p>それぞれ、検討したいテーマを選びグループに分かれて下さい。それぞれのグループに包括の職員が入り、一緒に考えたいと思います。美里町として具体的にどんなことをしたらいいかを考えて、付箋に書いて下さい。</p>
	<p>～グループ毎に話し合いをしながら作業を行う～</p>
相原技術主幹	<p>グループで話し合ったことを発表してもらいます。</p> <p>では1グループからお願いします。</p>

伏見委員	<p>意見が三つにまとまりました。</p> <p>一つは「情報収集」です。「独居の人と近所の人が連絡を常にとるようにする」「役場・医師会に事務局を作りスーパーコーディネーターを置く」「専門職と地域が顔の見える関係になる」「あの人なら相談にのってくれるのではという関係づくり」「子供達にも大変そうな人をみかけたら教えてと話す」</p> <p>二つ目は「地域の力を高める啓発」です。「包括ケアの意味を分からない人に理解してもらうため、ボランティアさんや健康協力員等で合同研修会等をしてはどうか、区長さんや民生委員さん方も一緒に参加してもらうような企画はどうか」「退職した方に研修会に参加してもらう」</p> <p>三つ目は「相談窓口の一覧」です。「地域毎の相談先が分かるような名簿」「マップ」「分かりやすい窓口一覧」等を作って配布等すればいいのではないかとという意見が出ました。</p>
相原技術主幹	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、2グループお願いします。</p>
野田介護保険係長	<p>2グループについては、「町民の困った事を支援できるよう考えられる専門職。つなげられる専門職」について話し合いました。</p> <p>まず、「資源の見える化」ということで、資源や人材の把握をしながら相談窓口・行政機関・介護事業所・医療機関のリストを作って、マップを作れないかという話になりました。それを民生委員や行政区長や地域の皆さんに渡して活用してもらうようにすればいいのではないかと。</p> <p>次に「顔の見える関係づくり」ということで、医療・介護の関係者が顔の見える関係になり、気軽に相談できるネットワークづくりをしていけば連携が取りやすいのではないかとになりました。そして、今日のような会議や研修会等をして顔の見える関係づくりをしながら「スキルアップ」を図っていけたらいいのではないかと話し合いました。その結果、研修したことの認定制度や多職種連携をシステム化、そしてコントロールセンターのようなところで専門職にすぐ繋いで貰えたり、Tの活用等の話が出ました。</p>
相原技術主幹	<p>「町民の皆さんの声を聴く場」もありますが、実際に聞く場が無いと支援に繋がらないのではと、1グループでも話が出ていました。ありがとうございました。</p> <p>次に3グループお願いします。</p>
尾形委員	<p>3グループは、「町民を支援できる医療と介護の連携体制」を話し合いました。</p> <p>「医療と介護の情報が共有できる場所やツール」が必要ではないかと出ました。このような会議や勉強会、専門職としての視点を話し合える場があったほうがいいと思います。医師からの視点、ケアマネジャーからの視点等の情報共有出来る場を作ることで相談できる人が作っていただけるのではないかとになりました。</p>

	<p>また、高齢者でも T に詳しい人が中にはいると思います。そういう人も地域資源として探していき、勉強会等話し合う機会があったらいいのではないかという意見が出ました。</p> <p>相談がたらい回しにならないような体制として、行政が相談の窓口を提示することが必要と意見が出ました。</p> <p>地域と医療と介護の連携が図れる人がいれば、本人の実態調査をし、町に相談をしながらアドバイスをすること等ができれば連携になるのではないかとになりました。</p>
相原技術主幹	<p>沢山ご意見いただきました。グループに分かれて話し合いをしましたが、同じような意見があったかと思います。</p> <p>一つは、顔に見える関係が作れるような研修会や勉強会をして啓発をすること。二つ目は、マップや使えるような一覧表があるといいという意見がありました。スキルアップですが、他の職種の事を理解したり、今の知識等を底上げできるようになっていったらいいのではないかと思います。</p> <p>他には関係機関どうしのネットワーク作りだと思います。研修会や交流会を重ねながら、ネットワークを作れたらいいのではないかと思います。また、困っている人を見つけたり、地域の方の意見を聞く場や話し合う場や、地域の情報を集めるしくみがあるといいかと思います。</p> <p>これらを実施していくと、テーマにしたことが達成されていくと思います。達成は難しくても近づいていけると思います。</p> <p>すぐ出来そうなことはありますか。</p>
伏見委員	出来たらいいと思うのは、一覧やマップです。
木村委員	美里町内で同じ職種の人と集まれる機会があるといいです。
相原技術主幹	研修会や勉強会、ネットワーク作りになるものですね。
横山委員	<p>研修会等は計画すれば出来ますね。</p> <p>他町と一緒に大きく研修会をしても、自分の町のことでなくなってしまう、あまり意味がないように思います。</p>
相原技術主幹	<p>啓発については、町の職員が地域に呼ばれて話をする時等にこのような会議をしていること等伝えることができると思います。また、町民の意見を聞ける機会を考えていきたいと思います。</p> <p>情報を集める仕組みをつくるのは時間がかかると思います。現在、生活支援体制整備事業で、高齢者に限らず町民とどんな町づくりをしていったら良いかを考える会議をしています。その会議でも同じ意見が出ており、医療に限らず一緒に考えていけたらよいかと思います。</p> <p>次回、2月に行う会議で事業を計画し、来年度出来るものはやってみたいと思います。</p>

	<p>今年度の11月8日に多職種連携の研修会を行ってみました。病院、薬局、居宅介護支援事業所、施設等町内91事業所に案内を出して、40事業所の方、全部で65名に参加いただきました。尾形委員さんにも参加していただき、当日質問もしてもらいました。</p> <p>参加してみてもいかがでしたでしょうか。</p>
尾形委員	<p>認知症の病態の知識についてでした。実際認知症の方に対応するには、あれだけの知識では足りないと思いました。</p>
相原技術主幹	<p>研修会は認知症について行いました。今まで、全事業所の方が集まったの研修会を行ったことが無かったので、機会としては良かったのではないかと思います。これを続けていければと思います。</p> <p>但し、日中では薬局の方・医療機関の方の参加は難しく検討が必要と思われます。次回の会議で、交流やネットワークづくりについて検討できたらと考えます。</p> <p>東海林さんとの話し合いの中で、事業を裏付けする美里町の統計が具体的に分かるというのではないかという意見がありました。今後提示できればと思っております。</p> <p>次回は来年度に事業をどのように行うか、実施日を具体的に検討できればと思います。ではこれで本日は終了したいと思います。</p>

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成 年 月 日

委 員 \_\_\_\_\_

委 員 \_\_\_\_\_